

CWAJ/VVI Newsletter

2017年冬号

目次

1. ごあいさつ
2. 2017年後半のCWAJ活動報告
3. ECG（英会話の集い）～ブラジル大使館訪問記～
4. CWAJ現代版画展とHOA（ハンズ・オン・アート）のご報告
5. 編集後記 ～新リーダー 塚越道子（つかごしみちこ）からのメッセージ～

※各項目の最初に★印をつけてありますので、項目検索にご利用ください。

CWAJ = College Women's Association of Japan VVI = Volunteers for the Visually Impaired（視覚障がい者との交流の会） ECG = English Conversation Gathering（英会話の集い） SVI=Scholarship for the Visually Impaired（視覚障害学生奨学金）
HOA = Hands-on Art（ハンズ・オン・アート） JVDCB = Japan Vocational Development Center for the Blind（日本盲人職能開発センター） CSP=Children's Special Project（子どもプロジェクト） FSC=Foreign Students Circle（外国人留学生との交流の会）

★1. ごあいさつ

皆様、お元気ですか。今年の夏と秋は、雨の日が多かったですね。東京では、いつの間にか木々が橙や黄色になり、コンビニエンス・ストアの店頭では、おでんが美味しく煮えています。9月から池井戸潤（いけいどじゅん）さんの小説がテレビドラマ化され、日曜日の夜の楽しみがひとつ増えました。創業百年を迎えた足袋屋の4代目店主が足袋作りで培った技術を応用してランニング・シューズを作ろうと奮闘する物語で、50代後半の4代目当主（役所広司、やくしよこうじさんが熱演しています）があらゆる困難を乗り越えて突き進む姿に心が打たれます。このニュースレターが皆様のお手元に届きます頃、夢のランニング・シューズが完成しているといいな、と思います。

2017年を締めくくるVVIニュースレター今冬号では、CWAJの2017年後半の活動の紹介、6月に開催されたECGブラジル大使館訪問記、そして、10月25日から29日まで代官山で開催されたCWAJ現代版画展とHOAのご報告をいたします。

それでは、お楽しみください！

★2. 2017年後半のCWAJ活動報告

CWAJ版画展委員会は、第61回CWAJ現代版画展を代官山のヒルサイドフォーラムにて、10月25日から29日にかけて開催いたしました。また、この版画展に先駆けて、9月26日から10月16日にかけて、併設展「刀で描く—無限に広がる木版画」を東京アメリカンクラブのフレッド・ハリスギャラリーにて開催いたしました。今年は併設展と本展が別々の場所で開催されたので、CWAJ版画展委員会メンバーは、都内を駆け回りました。そして本展から約60点の作品が神戸に移動し、11月15日から19日にかけて北野町にある神戸倶楽部にて「神戸CWAJ版画展」を行いました。

CWAJ 現代版画展委員会ディレクター 安川みさ（やすかわみさ）

CWAJ教育プログラム委員会では、今年の春に立ち上げた「子どもプロジェクト」(CSP)が聖ヨゼフホーム（児童養護施設）を訪問して英語を楽しく学べる活動を行いました。また、港区南麻布子ども中高生プラザにて、「英語で遊ぼう」イベントを開催、10月18日にハロウィン、12月13日にクリスマスの集いを行いました。

又、「外国人留学生との交流の会（FSC）」では、日本の自然、歴史、文化を外国人留学生に体験し理解してもらうために今年度は三浦半島ハイキング、雅楽・歌舞伎・N響の鑑賞、投扇興教室、浴衣着付教室、CWAJ現代版画展の訪問などのイベントを開催し、年末には「年越しそばうち体験」もあります。

CWAJ 教育員会 CSP 日本人リーダー 渡辺理津子（わたなべりつこ）

FSC 日本人リーダー 門多三恵子（かどたみえこ）

CWAJ 奨学金委員会では、2018年度の海外留学大学院女子奨学金（SA）、外国人留学生大学院女子奨学金（NJG）、視覚障害学生奨学金（SVI）、福島支援奨学金（FRS）を支給するための各選考委員会を立ち上げ、今年も10月から応募書類の受付が始まりました。多数の応募願書を公正に選考するのは重責ですが、寄付を下さった協賛者方や版画展を通して支援して下さった方々の気持ちに感謝しつつ、誠実に対応して行きたいと思います。奨学金給付生が決定するのはまだ先になりますが、また素晴らしい奨学生を皆様にご紹介できる日を楽しみにしています。

CWAJ 奨学金委員会日本人リーダー 吉村啓子（よしむらけいこ）

★3. ECG（英会話の集い）～ブラジル大使館訪問記～

6月10日（土）、視覚障がい者31名、ガイド7名、CWAJ ボランティア18名の合計56名が、北青山にあるブラジル大使館を訪問しました。

ECGでは、CWAJ外国人メンバーに母国についてプレゼンテーションを頼むことが多いのですが、今回は、ECG日本人リーダーの森藤純子（もりとうじゅんこ）がCWAJ内のブラジル人メンバーと話をしたところ、「友人だから」、とブラジル大使夫人に話を繋げてくれ、大使夫妻は快諾して下さったそうです。

VIフレンズさんたちは、この日、どんな午後を過ごされたでしょうか？佐藤文一（さとうふみかず）さんが書いて下さった「ブラジル大使館訪問記」をご紹介します。佐藤文一さんは東京大学大学院電子工学修士課程を修了。進行性の網膜の病気で失明しましたが、現在も同大学で研究を続けられています。JVDCBに通われたことでCWAJと出会ったそうです。

● ブラジル大使館訪問記

6月10日（土）のブラジル大使館の訪問はとても楽しかったです。

外苑前（東京メトロ地下鉄銀座線）で降り、大使館に向かって歩いている時から、もうわくわくしていました。大使館に着くと、大使ご夫妻がお迎えして下さいました。

前半は、ブラジル大使がボサノヴァの歴史をお話してくださいました。ボサノヴァの生まれた頃、リオデジャネイロのできごと、ジャズとサンバも影響しあって、徐々にボサノヴァができあがっていく様子を、実際にその曲も聞きながら、とてもわかりやすくお話してくださいました。あの有名なアントニオ・カルロス・ジョビンの「イパネマの娘」のジョアン・ジルベルトが演奏するギターの音色と歌声が流れてくると、とても懐かしくなりました。スタン・ゲッツのサクソと英語で歌うアストラッド・ジルベルトのアルバムを学生の時に購入して、よく聞いていたことを思い出しました。

後半は、それぞれのテーブルで歓談です。ブラジル・コーヒーをいただいて、珍しいブラジルのお菓子もいただきました。ナッツが入ったお菓子とチップが、ほどよい味で、とってもおいしかったです。

私は全盲ですので、見えないのですが、目の見える人は、大使館の壁の色や調度品などで、ブラジルの雰囲気も楽しまれたのでは、と思います。

大使は身長が 190 c m くらいあり、とてもかっこいい方で、大使夫人もすらっと背の高い、ステキな方とのことでした。

私達を招待して下さったブラジル大使ご夫妻、今回の企画をしていただいた関係者の皆様、本当にありがとうございます。

機会があれば、本場でボサノヴァを聞きたいです。

VI フレンズ 佐藤文一 (さとうふみかず)

佐藤文一さん、ありがとうございました！

今回の企画を立案してくれた ECG リーダーの森藤純子とルジュータ・パラドゥーカルにも少し書いてもらいました。

・ブラジリアンコーヒーや、グアラーナと呼ばれるカフェインの多いソーダとともに、2種類のスイーツを、モダンで明るいお部屋でいただきました。グループに分かれての会話は、笑い声と共に弾んでいました。大使と奥様が参加者に気さくに話し

かけることで楽しい雰囲気を作ってくださいました。大使館員の方は、私たち全員にお茶やお菓子をお出し下さり、また盲導犬の為の飲み水までご用意くださいました。

ブラジルの母国語はポルトガル語ですが、大使も奥様も私たちに分かり易く英語をお話し下さいました。私が帰りにごいっしょした VI フレンズさんは、大使の英語をよく聞き取っていらして、歩きながらいろいろな話をしてくれました。

ECG 日本人リーダー 森藤純子（もりとうじゅんこ）

大使館に入館するとき、通常は手荷物検査やボディー・タッチなどのセキュリティーを通らなければいけないのですが、大使の計らいで、わたしたちは別の入り口から何も煩うことなく、速やかに入ることができました。お菓子の名称ですか? 思い出せません。今度マルシアに会ったときに、聞いておきます。

みなさんが楽しんでくださって、とてもよかったです。

ECG 外国人リーダー ルジュータ・パラドゥーカル

最後に、VI フレンズさんからの感想をあと 3 つ紹介いたします。

・刺激的で楽しい ECG でした。私は 4 年前にブラジルに行ったことがあります。だから大使の音楽の話は難しかったですが、音楽は誰の心にも同じように染みわたってきますのでとても楽しむことができました。ブラジル大使館の周辺はまったく初めてのところでした。あの大使館の前を通り過ぎてずーっと歩いて行ったらどこの街にたどり着くのだろうかと思うと、好奇心の強い私などはドキドキするほどです。今度ゆっくり探索したいです。豊かな時間を過ごさせていただいたスタッフの皆さんにとっても感謝しています。

・ブラジル音楽の歴史、すべて英語なので全部は理解できませんでしたが、最後の質問のときに「外で誰もが演奏できるように、ピアノからギターに変わってきた」という

大使のお話はとても印象に残りました。知り合いが少なく、ちょっと緊張しましたが、コーヒーを飲みながらのお話も楽しく、また参加したいです。

・ボサノバの歴史の話はとても勉強になりました。部分、部分の聞き取りしかできませんでしたが、ボサノバがどんな曲か分かりました。何でも、知っているのと知らないのでは感動や喜びにも大きく関係してくることも改めて気づきました。充実した時間でした。毎回参加するたびに、英語をもっと理解できたら楽しさや感動ももっと大きくなると思い、NHK ラジオ基礎英語を聞き始めて3年経ちました。私の英語力は一定の線を越えることなく情けないです。「継続は力なり」という言葉を信じて細く長くラジオを聞き続けたいと思います。心を潤し豊かな時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

★4. CWAJ 現代版画展と HOA (ハンズ・オン・アート) のご報告

2015年の「還暦」60周年から2年ぶりとなる第61回CWAJ現代版画展が東京・代官山のヒルサイドテラスにて開催されました。今年は台風の影響で、週末の10月27日(金)から29日(日)にかけては大雨となりましたが、悪天候にもかかわらず、21名のVIフレンズが足を運んでくださいました。ハンズ・オン・アートも2年ぶりに復活し、版画の前に立ち、手に持った立体コピーを指でなぞりながらガイドの説明を聞くVIフレンズさんたちの姿が見られました。

今年の版画展には204点の作品が選ばれ、そのうちの2020年オリンピック・パラリンピックのエンブレムをデザインされた野老朝雄(ところあさお)氏の作品を含む以下の5作品を、CWAJハンズ・オン・アートチームが立体コピー画に仕上げました。

作家名、作品名、技法の順に列記いたします。

① 浜西勝則(はまにしかつのり)、「Prime Fall」、メゾチント

画面が大きく三分割されていて、中央に金箔を用いた金雲、上部には赤色、黄色の紅葉、下部には枯山水の石庭が描かれています。

② 牧野光陽（まきのこうよう）、「秋色」、木版

茅葺屋根の家と何層もの山がアンバー系（ウイスキーの色です）の赤・オレンジ・緑で描かれています。国宝級の越前和紙が存在感を放ちます。

③ 利渉重雄（りしょうしげお）、「砂の暦」、アクアチント

砂の中に忽然と現れる城壁の街にはたくさんの塔が立っています。黒・グレーの濃淡で描かれています。

④ 清水美三子（しみずみさこ）、「glass IV」、リトグラフ

一輪の木花（たぶんアマリリス）が入ったガラスの花瓶の表面に日光が当たり、陰影ができています。水面も水中も描かれています。

⑤ 野老朝雄（ところあさお）、「Border Rhombus Works」、木版フロッタージュ

角度の異なる赤白ストライプの菱形（ $30^\circ \cdot 60^\circ \cdot 90^\circ$ ）を敷き詰めて作り上げた限りなく円に近い、調和のとれた形を描いています。

会期中は、外国人を含むたくさんの方にご来場いただき、多くの方がハンズ・オン・アートにも立ち寄って、「手で鑑賞するアート」を体験していかれました。CWAJ ボランティア・メンバーは、来訪者の、「HOA ってなに?」、「どうやって立体コピーを作るの?」などの質問に応えたり、VI フレンズの皆さんの手をとって立体コピーに触れるお手伝いをしたり、絵柄について説明したり、作家の皆さんから寄せられたコメントを読み上げたりしました。HOA コーナーには、CWAJ 英点字チームが手作りした「ぐりとぐら」の英訳点字絵本、野老朝雄さんが貸し出してくださったいろいろな菱形の木製の断片も展示されていて、晴眼者も視覚障がい者も絵本を広げたり、木片を組み合わせていろいろな形を作ったりして遊びました。HOA に立ち寄ってくださった方全員に、英点字で **thank you so much!** と書かれたカードも配りました。名刺くらいのサイズのカードで、和のテイストを表現する扇子、季節を表現するもみじの葉の凹凸シールが貼られていました。

VI フレンズの皆様、冷たい雨の中代官山ヒルサイドフォーラムまでお越しいただきまして、ほんとうにありがとうございました。お楽しみいただけましたか？お気づきのことがありましたら、是非率直なご意見をお寄せくださいませ。

最後になりましたが、参加者の感想を、ごく一部ですがご紹介いたします。

・楽しいイベントに参加させて頂きありがとうございました。あんなにたくさんの版画を見たのは始めてでしたが、私は美術館で絵画を観るのが好きなのでごく楽しめました。また是非イベントに参加したいです。

・大変お世話になりました。説明をしていただきながら立体コピーに触れると、とてもよくわかりました。ほかの作品も説明をしていただいて、版画のイメージを想像することができました。作家さんがいらっしゃって直接お話を聞いたのは驚きでした。雨だったのは残念でしたが、とても有意義な時間でした。また是非、参加したいと思います。ありがとうございました。

・スイスから来ました。自分は晴眼者ですが、ハンズ・オン・アート・コーナーでは視覚障がい者といっしょに立体コピー画を触ったり、パズルを触ったりしながら、手による美術鑑賞を体験しました。面白かったです。ぜひずっと続けてください。

ハンズ・オン・アート コーディネーター 石井ふみ子 (いしいふみこ)

★5. 編集後記 ～新リーダー塚越道子（つかごしみちこ）からのメッセージ～

ご報告が遅れましたが、VVI ニュースレター秋号の校正が終了した頃、入れ違いに ECG 外国人リーダーのクリスティーン・ベンソンはご主人の辞令で米国に帰国しました。クリスティーンの記事は、塚越道子が引き継いでいます。塚越道子から、VI フレンズの皆様へ、2017 年を締めくくるメッセージをお送りいたします。

● VI フレンズの皆様、今年も VVI のイベントにご参加いただき、ありがとうございました。CWAJ 外国人メンバーによるニュージーランド、ブラジル、エジプト、各国のプレゼンテーション、代官山での CWAJ 第 61 回 CWAJ 現代版画展と HOA、そして JVDCB での英会話や筑波大学附属視覚特別支援学校での英検疑似体験など、今年度のコンテンツはいかがでしたでしょうか？

わたしは、御手洗美智子(みたらいみちこ)が 42 年前に VVI を立ち上げた時のことをまだ覚えております。少人数のメンバーで、英語の教科書の朗読などのささやかなことから手探りで始めたコミティーでしたが、VI フレンズさんたちのおかげで少しずつ発展させていくことができ、今日に至りました。2017 年も、新たな出会いに恵まれましたことを嬉しく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。どうぞ来年もよろしく願いいたします。近々おめにかかりましょう！

VVI リーダー 塚越道子

CWAJ VVI ニュースレターは、CWAJ ホームページでもお読みいただけます。

<http://www.cwaj.org/Education/vvi-j.html>

皆さまのご感想を、ぜひ下記の連絡先までお寄せください。

連絡先が変わった方も、ぜひ下記までご一報ください。

今年も VVI ニュースレターをお読みいただき、ありがとうございました。

よいお年をお迎えください！

(連絡先) VolunteersVI@cwaj.org

編集担当：渡邊由香 (わたなべゆか)

発送担当：本村理子 (もとむらみちこ)